

# 豊田市PCB処理 安全監視委員会だより

平成 25 年 2 月  
第 28 号

豊田市では、日本環境安全事業株式会社が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境を保全するために、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、PCB 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

委員会の活動内容は、この「委員会だより」や市のホームページなどで公開しています。

## ●平成 24 年度第 2 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会について

平成 24 年 11 月 22 日午後 2 時から豊田市役所において、平成 24 年度第 2 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会を開催しました。

委員会には委員 10 名、オブザーバーとして愛知県資源循環推進課、豊田市消防本部予防課、豊田労働基準監督署、その他として環境省産業廃棄物課、JESCO、運転管理会社が出席しました。

また、市議会議員 2 名と一般傍聴者 2 名が会議を傍聴されました。

### 【漏洩事故についての報告事項】

#### 1 SD 剤受入作業時の漏洩事故

7 月、作業員が、送液前に圧力抜きを行ったバルブの閉止作業を忘れたため、タンクローリーから SD 剤受入槽へ PCB の脱塩素化剤である SD 剤を送液中、床に SD 剤が漏洩する事故が発生しました。漏洩した SD 剤はすべて受入室内の防油堤内に留まっており、外部への流出はありませんでした。

主な対策として、圧力抜きを行ったバルブを閉めなければ SD 剤を送液できないような構造にするとともに、手順書に相互チェック欄を設け各段階ごとにバルブの開閉状態を相互チェックします。

#### 2 ベンゼン排出事故

9 月、作業員が誤ってバルブを開放したため、屋上排気口から、市との協定値 ( $50\text{mg}/\text{m}^3$ ) を超えるおそれのあるベンゼンが排出する事故が発生しました。なお、当排気は PCB 分解後の排気であるため、PCB は含まれていません。

主な対策として、当該バルブをピンで固定し、誤ってバルブを開放することのないようにしました。

#### 3 事故に関する市からの指摘事項

これまでの事故等改善対策が進められている中、手順書どおりに作業しないという初歩的なミスが原因により、相次いで発生した漏洩事故に強い危機感を抱き、JESCO に対し指導票等を交付し改善を求めました。

##### (1) SD 剤受入作業時の漏洩事故の主な指摘事項

- ・手順書どおりに作業が行われず、緊張感が足りない。
- ・手順書どおり作業していることのチェック体制が必要である。
- ・重要な非定常作業、危険度の高い作業には JESCO が立会い、確認すべき。

##### (2) ベンゼン排出事故の主な指摘事項

- ・ヒューマンエラーをゼロにすることは不可能であるが、事故に直結しないような施設にするべき。
- ・これまでの事故に対する取組を検証、評価してから対策を講じるべき。

#### 4 漏洩事故防止に向けた新たな取組み

漏洩防止対策のための専門組織として、運転会社内に漏洩防止対策プロジェクトチームを組織し、漏洩防止対策を実施していく等の取組みを実施していきます。

## 【PCB 廃棄物処理施設の状況報告】

### 【JESCO からの報告事項】

#### 1 PCB 廃棄物の処理状況

JESCO 豊田事業所では、操業開始から、トランス類 1,381 台、コンデンサ類 25,045 台、PCB 量にして約 1,035t を処理しました。

#### 2 周辺環境への影響の状況

平成 24 年度に実施した排出源及び周辺環境モニタリング結果は、いずれも管理目標値、環境基準値等を下回っていました。

### 【市からの報告事項】

#### 1 収集運搬事業者への指導等について

市は、収集運搬事業者の体制等を確認するため、JESCO 搬入時に立入検査を実施しました。車両表示、携行書類、緊急対応用品や当日の固縛状況に問題はありませんでした。

今後も適宜、収集運搬事業者へ立入検査、指導等を実施していきます。

#### 2 平成 24 年度環境モニタリング調査

平成 24 年度夏季に実施した環境モニタリング調査結果について、大気、河川水質及び土壌のいずれも異常はありませんでした。経年変化からも、施設稼動に伴う異常は認められません。

#### 3 安全監視委員会作業部会の設置

市は、安全監視委員会の中に、機械設備等に造詣の深い学識者委員や周辺企業代表委員等で構成する作業部会を設置し、速やかに漏洩事故等への対応や安全対策への助言等が受けられるような体制を構築します。

### 【PCB 廃棄物の施策に関する当面の予定について】

これまで国で進められた「PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」報告書について、また、今後の PCB 廃棄物の施策に関する予定等について、環境省から報告されました。

### 【委員からの主な意見】

- ・事故 2 件とも作業員に勝手に作業をさせている感が強い。管理監督者についても原因追及をすべき。

- ・過去にも同じ工程で事故が発生した。前例の事故の徹底ができていない。
- ・外部への排ガス最終工程で発生した事故である。最終工程であるという危機意識やここが外部への最後の砦であるという認識が甘い。
- ・JESCO の作業に対する立会いが不十分。運転管理会社も緊張感が足りない。
- ・簡潔な作業手順書を確実に守らせることが最良だ。
- ・作業員は作業に専念させ、指揮者は指揮と作業チェックに専念すべきだ。
- ・教育しても、作業員の身につかなければ対策にはならない。手順が守られないかもしれないという考えでリスクアセスメントをすべきだ。
- ・このバルブを操作したらどうなるかをしっかり認識して作業手順書を作るよう求める。
- ・開ける必要のないバルブがミスにより開けられ、事故につながった。開ける必要のないバルブについては、ハード面でしっかり対処すべき。
- ・指揮者をしっかり教育すること。手順書に限らず幅広い知識を持った人が作業員を指揮することが望ましい。
- ・我々は地域住民代表として出席している。いろいろな説明をしていかなければならないので、更なるお互いの意思疎通と協力をお願いしたい。

等の意見が出されました。



◆ 豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局  
豊田市環境部環境保全課  
TEL : 0565-34-6628  
FAX : 0565-34-6684  
e-mail : k\_hozen@city.toyota.aichi.jp